

まようこう

2021
秋号

公益財団法人日本教育公務員弘済会

vol.37

わたしらしく ― 巻頭インタビュー ―

中村 雅俊

特集

東日本大震災から10年

被災3県の復興教育

心に残る子どもたち

和歌山県立和歌山ろう学校 教諭 山路 哲弘
沖縄県那覇市立天久小学校 校長 宮里 寿子

教職員の健康を応援 歯周病〈第1回〉

歯周病とはどのような病気か

～ 国民の約7割が歯周病 ～

若林 健史

My Second Life 〈vol.7〉

『菓子工房momo』で紡ぐ新たなご縁

巽 康真・道子

わたしたちの学校自慢

専門高校シリーズ 〈vol.2〉

青森県立 八戸水産高等学校



俳優・歌手

中村雅俊

70歳の俺が出来ること



デビューから毎年行う全国コンサートは1,500回を超える

おだずもっこ

ひょうきん者のことを、故郷では「おだずもっこ」というのですが、子どもの頃から自他ともに認める「おだずもっこ」でした。お調子者で皆を笑わせることが好きで、叱られても気にしない。元気で楽天的な子どもだったと思います。いつも学級委員をしていました。4歳のときに父親が亡くなったのですが、「片親だから」と言われたくないという子どもながらの反発心もあったかもしれません。

故郷の宮城県女川町は、太平洋に突き出た牡鹿半島の付け根にある人口2万人ほどの港町で、当時は鯨で栄えていました。鯨の解体場があって、解体の日は海が真っ赤に染まってね。よく鯨を食べていました。そんな港町で、ホヤ貝の行商で生計を立てる母親と優しい2人の姉の4人暮らし。母親は後に自宅の1階で飲み屋を始めますが、俺は母親の働いている姿しか見たことがない。そんな逞しい母親の背を見て育ちました。貧しかったけど満ち足りていました。今思えば、愛されているという実感があったのかな。カレーライスの具は、ずっと油揚げだけと信じていたし(笑)。

学校の先生も俺のことを気にかけてくれました。よく叱られましたが、先生が宿直のとき、夜になると宿直室に呼ばれて、鍋を囲んで政治や経済のこと、将来のことなどを話し込んだりしてね。今では考えられないでしょう。先生たちは、昼も夜も子どもを本気で叱り、親身になって拙い話を聞いてくれた。親も学校の先生を信頼していたし、先生が間違っていると思ったときは母親も「それは先生が悪い」と本気で怒ったりしてね。みんな真剣だった。港町で気性が荒いっていうのもあったのか、毎日がとても賑やかだった気がします。

中学・高校は、バスケットボールに明け暮れました。高校は進学校でしたがバスケ部のキャプテンを務め、テスト前に集中して勉強するというスタイルで文武両道を自分なりに成し遂げました。自宅1階の母親の店から流れてくる歌謡曲を聞きながら必死で勉強し、数学で学年一番、英語と国語では三番という上位の成績をとり、それを維持したのです。

東京へ

いつの頃からでしょう。この小さな町から出たい、出ないといけないという想いが募っていきました。自分を取

り巻くすべての環境から一度離れてみたかった。そして出るなら東京だと。ところが、それまで進路のことなど口にしたことのない母親が、東北大学に進んで宮城県庁に入ってくれと急に言い張るのです。苦勞した母親は、安定した仕事につくことを願ったのだろうと思います。その頃の俺は五木寛之さんの著書「青年は荒野をめざす」の影響を受けて、外交官になる夢を抱いていました。小説に出てくるソ連（現ロシア）という荒涼とした国のイメージと、時々女川町の港に来るソ連の船から降り立つ金髪の外国人への好奇心で、将来は外交官になってソ連と関わる仕事をしたいと考えていたのです。今思えば、田舎から外に出る理由を探していたのかもしれませんね。

母親との口論にめげず、俺は上京しました。結局ロシア語学科には落ち、慶応大学経済学部へ進みました。ロシア語は縁がなかったけれど英語は必要だろうということで、ESSに入部。英語劇をしていましたが、日本語の芝居をやりたいと文学座を受けたのです。競争率は40倍。無謀でしょ（笑）。どのみち落ちるだろうと受けてみたら、一次試験も二次試験にも合格。その後はアルバイトをしながら研究所に通う生活にどっぷりと浸かり、非日常を演じるドキドキ感にのめり込んでいきました。ある日、文学座からテレビドラマ「われら青春!」の先生役のオーディションの話がきて挑戦してみたら、これもまた思いがけずに合格をいただき、あれよあれよという間に俳優デビュー、挿入歌の「ふれあい」という曲がオリコン10週連続トップというメガヒットに。大学の卒業試験にはプロデューサーの計らいで出席させていただきました。それが1974年のことで、それ以来50年近く、ドラマにコンサート、司会など、この世界で生きてきました。母は94歳で亡くなりましたが、喜んでくれていたと思います。

人間は突然死ぬ

今年70歳になりました。目の前に立ちはだかる壁を



当時、「俺たちの旅」に影響され、ジープに下駄を履くスタイルが流行した

一つひとつ乗り越えたらここに辿り着いたという感じで、まだまだ通過点です。試練もありましたが、考え方が大きく変わったのは、10年前の東日本大震災でした。故郷の女川町も被災し、友人知人も亡くなりました。

「人間は突然死ぬんだな。」変な言い方ですが、一番強く心に刻まれたことです。「今日と同じ明日が来ると思うなよ。」このことも今なお心を占めています。今日という日を丁寧に生きること。生きている者として、最も大事にするべきことなのではないかと思うこの頃です。

宮城県の東松島市にある2つの小学校が統合され、鳴瀬桜華小学校という学校になった時に、新しい校歌をつくらせていただきました。この春、学校が新しくなり、校長先生がギターを弾き、子どもたちが元気に校歌を歌う姿を映像で見ましたが、嬉しかったですね。坂の上にある小学校で、坂の両サイドには桜の木が植えられました。子どもたちも桜の木も、元気に育って欲しいと願うばかりです。復興はまだ道半ば。ゴールは見えません。「おだずもっこ」の俺を育ててくれた故郷のために、俺にできることを、これからも精いっぱいしていきます。



中村 雅俊 なかむら まさとし

1951年宮城県牡鹿郡女川町生まれ。1973年、慶應義塾大学在学中、文学座附属演劇研究所に入所。1974年、NTV「われら青春!」の主演に抜擢されデビュー。挿入歌「ふれあい」で歌手デビューし、売り上げが100万枚を超える。今までに連続ドラマ34本を含め、主演作品は100本以上。歌手としてもコンスタントに曲を発表し、現在シングル55枚、アルバム41枚をリリース。デビューから毎年行う全国コンサートも1,500回を超える。



読者の方から抽選で2名様に、中村 雅俊さんによる直筆サイン色紙をプレゼントします。

応募は、はがきに①住所、②氏名、③電話番号、④ご所属の学校名(組織名)、⑤秋号の感想をご記入のうえ、以下の宛先までご郵送ください。

応募宛先：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-6 (公財)日本教育公務員弘済会「きょうこう秋号プレゼント」事務局

締 切：2021年12月24日(金)必着

※当選者の発表は、色紙の発送をもって代えさせていただきます。

東日本大震災か

被災3県の復興教育

2011年3月11日、午後2時46分。あなたはどこで何をしていましたか。そう聞かれたら、それぞれに、その時のことを鮮明に思い浮かべることだろう。

マグニチュード9.0という国内観測史上最大規模を記録したあの東日本大震災から10年。

大地震による津波は高さ10メートルを超え、東北沿岸部を中心に甚大な被害をもたらした。死者1万5,899人、行方不明者2,526人、震災関連死3,775人、住宅全半壊40万戸超(2021年3月10日時点)。津波で浸水した東京電力福島第一原子力発電所は水素爆発によって放射性物質を漏出する重大事故を起こし、住民の強制避難は今なお続く。県外避難を続ける4万1,241人(2021年3月10日時点)の内3万6,000人は、原発事故で帰還困難区域となった地区住民たちだ。そして今も、約2,000人が仮設住宅に暮らしている。

多くの児童生徒も犠牲となった。岩手・宮城・福島の東北3県における小・中・高校生の死者は424人、行方不明者は82人以上に及んだ(2011年5月調査)。犠牲者の多くは地震発生時、下校途中や下校後に自宅等で津波に遭ったとみられる。そしてまた、震災後に全国の

公立学校で受け入れた被災地児童生徒の人数9,433人の内、東北3県の児童生徒数が9,272人。実に全体の98.3%が岩手・宮城・福島の子どもたちであった。

教育現場では、自らも被災者でありながら子どもたちを懸命に導いてきた多くの教職員たちがいた。今も様々な想いを抱えながら、復興教育を推進させている教職員、そして地域の人々がいる。

宮城県山元町立中浜小学校は、校舎が昨年「震災遺構」となったが、「語り部」として震災の経験を伝えているのは、咄嗟の判断によって90名の命を救った中浜小学校元校長の井上剛氏である。岩手県宮古市立田老第一中学校の照井正孝校長がまとめあげた10年に及ぶ復興教育の取り組みは、第26回(令和2年度)日教弘教育賞の学校部門の優秀賞論文として全国の教育現場に届けられた。福島第一原子力発電所の事故によって町全域が避難指示区域となった福島県双葉郡浪江町、なみえ創成中学校の柴口正武教諭には、原発事故後の「ふるさと学習」で子どもたちと向かい合う実践を語っていただいた。

今回は、被災3県の復興教育の事例を紹介したい。

宮城県

山元町立中浜小学校 元校長 いのうえ たけし 井上 剛

海岸線から約400mに位置する宮城県山元町立中浜小学校は、児童数59名、教職員数14名の小規模校(2011年当時)である。昔から高潮の被害を受けることが多く、校舎建て替えの際には地面を2メートルかさ上げし、頑丈な建物をつくったという。

激しい揺れに襲われたとき、3年生以上は2階で授業を受け、2年生は校庭で遊んでいた。当時校長だった井上剛いのうえ たけしさんは、咄嗟の判断で、児童と教職員、地域住民の計90名を校舎屋上に避難させ、津波が押し寄せる屋上倉庫で全員一緒に一夜を過ごした経験をもつ。2日前の三陸沖の地震によ

り、マニュアルの再確認と職員の情報共有を図った上での判断が全員の命を救ったが、「あの行動は正しかったのか」と今も自問し検証を続ける。

中浜小学校校舎は昨年(2020年)9月に震災遺構となり、井上さんは校長定年後、語り部として震災を語り継ぐ震災伝承活動をしている。

時間が基準

「揺れる職員室をなんとか歩き、テレビをつけました。『10分後に6メートルの津波が到達する』と気象庁が大津波警報を発令していた画面をみて、徒歩20分の避難先には行けないと覚悟を決めたのです。それが始まりでした。足を踏ん張り放送室のマイクに縋り付いて、校庭に向かって叫びました。『上へあがれ! 津波が来るぞ!』と。地震発生が14時46分頃。

ら10年

停電になったのが15時19分。停電の5分前、15時14分のテレビで津波の高さ予想が10メートルに更新されたのです。

校舎2階の天井までが約10メートル、2階ではだめだ、屋上だと判断。屋上に続く狭い階段を、10分以内、いや5分で全員上らせなければならない。低学年の児童が心配でしたが、誰一人声をあげず泣かず上りきりました。最後尾で階段を上るなか、『今度この階段を下りるときは全員の命を守りきったときだ』と自らに誓ったことを昨日のここのように覚えています。」

揺れる校舎の中では、物がぶつかり倒れ、子どもたちの叫び声や様々な音があふれ声が聞き取れない。屋上避難を全員に周知し、防災頭巾を被って屋上へ歩を進めることができたのは、2日前の打ち合わせにより校長と職員の間が一致し、互いを信頼する強い気持ちがあったからだだったと井上さんはいう。屋上倉庫に児童と地域住民を誘導した後、津波は4回校舎を襲ったが、子どもたちにその光景をみせることはなかった。

屋上倉庫での夜

宮城の3月は寒い。懐中電灯2本しかない暗闇の中で、「おなかですいた」と訴える児童がいた。井上校長はその時全員に向かって呼びかける必要を感じた。そして短い言葉で全員に伝えた。「今夜はここに泊まります。食べものも水もありません。とても寒くなります。でも、朝まで頑張ろう。暖かい朝日は必ず昇るから。」

揺れに襲われるたびに、「大丈夫だよ」と大人が意識してしっかりと声にした。床に段ボールや倉庫にあった学習発表会の衣装を敷いた。衣装ケースでトイレをつくり、女性のトイレは個室を設置。トイレは最優先だった。ラジオ・ワンセグからの情報を頼りに、暗闇の中、教師ら数人は体育館へ。非常用毛布があることを思い出したからだ。奇跡的に流れていなかった50枚の毛布を発見。屋上倉庫にあげたときには歓声が上がった。児童の防災頭巾は防寒具にもなる優れたものだった。肩を寄せ合い、余震と寒さに耐えた90人は、翌朝6時頃、自衛隊のヘリによって全員救助された。これから何があるかわからないと、井上校長は一人ひとりに毛布を持たせ、ブルーシートも避難所へ持って行くことにした。

町内小学校の合同授業から始まった学校再開への道のりは、地域のコミュニティが支えた。避難所となった学校は、運営する側も避難してきた人も共に被災者だ。井上さんたちは、起床時間と就寝時間、食事の時間を決め、子どもたち



90人が寒さと余震に耐え、いつくるかわからない救助を待ち続けた屋上倉庫。震災当時のまま残され、その状況を見学できる(写真提供/山元町教育委員会)

は元気な挨拶と掃除を励行。全員が被災者という避難所運営は、学校と地域の普段の関係を映し出したという。学校への信頼が心と行動を一つにした。校内に給食室があったのも幸いだった。センター方式の自治体が多いが、学校が避難所になったときには、この調理場が活躍することを実感したという。

子どもたちの心のケアだけでなく、教職員の心も心配だった。夜眠れるようになったのはここ最近だと、井上さん自身も語る。

伝え続けたいこと

「教職員の皆さんには、学校の校舎の隅々を、学校周辺や避難所までの道のりなども普段から歩いて確認してほしいと思います。私は中学の技術科教員でしたので、建物の構造や電気の配線など赴任校の内部や地域をよく歩き、自分の目で見て、耳で地域の声を聞くということを意識してやってきました。東日本大震災を知ることにおいても、ネットやニュースでは単なる情報に過ぎません。10年経ち、震災の風化も進んでいます。人口減少により小中学校の統廃合も止まりません。児童生徒も教職員の皆さんも、被災地に足を運んで五感で感じ取ってください。『震災遺構中浜小学校』は、地域の方々の心の拠り所であると同時に、震災を五感で知ってもらい、自然災害の脅威と防災教育の意義を確認し合う場所だと思っています。

そして、防災教育の心構えとして、次のことをぜひお伝えしたいと思います。」

●目の前にいる児童生徒が災害に遭うのは、明日かもしれないし、10年後かもしれない。将来、いつ、どこで、どのような災害に遭遇しても、自分の身を守り周りを救うことのできる力を身につける。

●防災の学習は「防災の時間」や「避難訓練」だけでなく、日常の授業や生活の中でも伝えることができる。

あの日から、「3.11の会」と名付けた教員の会を続けている。「震災遺構となる前から中浜小学校南側の花壇に皆で年に2回花の苗を植えています。作業の後は皆でおしゃべり。未来永劫継続するボランティアの会なのですよ。」と、井上さんは笑う。当時、共に屋上倉庫で身を寄せ合った子どもたちの成人式にも、必ず参加している。教員であり同志だという当時の子どもたちは、地元の消防士になったり漁師になったりと元気に生き抜いているという。語り部として全国の学校にも出向き、震災遺構を訪れる方々にも震災を語り伝える井上剛元校長の話は、聴く者の胸に迫り、東日本大震災を我がことにする。



2020年9月に震災遺構となった中浜小学校。校舎の壁に見える青いプレートの高さまで津波が達した(写真提供/山元町教育委員会)

岩手県

宮古市立田老第一中学校 校長 ^{てるい} 照井 ^{まさたか} 正孝

500人以上が犠牲となり、住宅など6,000棟以上が全壊した岩手県宮古市。19メートルの津波が、街を襲った。宮古市田老海岸の防潮堤は、総延長2.5km、海面からの高さが10mに及ぶ巨大なもので、国内外からも注目されていた防災設備であったが、3.11の津波はこの防潮堤の高さをはるかに越え防潮堤も破壊した。

三陸海岸から600メートル地点にある田老第一中学校は、このとき6時限目だった。普段の避難訓練通り校庭に避難したが、校務員が約30mの水柱を確認し「津波だ! 逃げる!」と叫んだのをきっかけに、学校の裏山に駆け上ったという。すでに下校している児童もあり、震災当時の全校生徒80名のうち36名、45%が被害を受けた。

明治と昭和にも大津波に襲われた田老地区。田老第一中学校の校歌には、「防波堤を仰ぎ見よ 試練の津波 幾た

びぞ 乗り越えたてし 我が郷土 父祖の偉業や 跡つがん」とある。

津波の被害からまちを再建する地域の歴史は、教育を守る闘いでもあった。

総合的な学習の時間における主な取り組み

■学ぶ世代に応じて変える復興教育

内容 学年	「震災からの学びを語り伝える」	「田老を知り、田老の未来を描く」
1年	震災講話(用務員・校長) ●津波からの教訓 ●語り伝える意義	産業体験学習 ●ウニの殻剥き ●真崎焼づくり
2年	「田老を語り伝える会」① (盛岡市内中学校との交流)	養殖体験学習 ●わかめ加工
3年	「田老を語り伝える会」② (東京方面の中学校との交流)	養殖体験学習 ●わかめ育苗 ●養殖棚へ種付け 「田老を元気にしよう」
全校	生徒会企画劇 *「命」、「未来」をテーマに 岩手大学生との合同授業 *「防災」、「地域振興」をテーマに	

田老第一中学校は、現在生徒数58名の小規模校である。生徒たちが被災したときは就学前で、当時の記憶も薄い。今後はさらに震災を知らない生徒が増えることから、復興教育の内容も「記憶の風化をどう防ぐか」という点が重要となってきている。教職員も震災体験者が少なくなってきた。この10年を振り返り、その成果と今後の課題を整理することを目的に、照井正孝校長がまとめた論文が「夢や目標に向かって、自分から考え行動できる生徒の育成～いわての復興教育の取り組みを通して～」である。当会ホームページにも掲載させていただいたので、ぜひご一読いただきたい。

中学の3年間を通し、「震災からの学びを語り伝える伝承活動」と、「田老を知り、田老の未来を描く地域産業体験活動」を学年ごとの総合的な学習の時間で積み重ね、全校生徒と地域が一体となる「生徒会企画劇」を年一回開催するという体系的な取り組みを継続してきた。

復興教育は、入学式後の4月に、校長と用務員さんから震災講話を聴くことから始まる。震災時に水柱を発見し、津波を察知して学校の裏山に生徒たちを誘導した用務員さんが現在唯一の震災体験者となっており、当時まだ幼かった生徒たちが、いかに多くの人々に助けられて命を守ることができたのかを話している。保育所から避難する際、途中で消防

団が車を止めて国道を横断させてくれたこと、裏山を駆け上がる時に年上の中学生が手を引いてくれたこと、避難所での不自由な生活のことなどを伝え、校長からは、被災した町で生まれ育った者にしか語りることができないことを語り継いでほしいという願いを、新入生への講話としている。

伝えることで学ぶ

2学年になると、自分が感じたり学んだりしたことを、他校の生徒に伝える「田老を語り伝える会」活動に取り組む。伝えるための原稿は、校内にある震災資料館の資料、インターネット、保護者や地域の方を対象にしたアンケートなど、生徒自らが行動し考えまとめる。「震災についていつか話さなければと思っていたが、子どもたちからの質問やアンケートが話すいい機会になった」という地域や保護者の声も多いという。盛岡市内の中学校を訪問して会を開催するほか、他校生徒と一緒に「避難所運営ゲーム」をするなど、防災交流を続けている。



3学年は復興教育の集大成として、修学旅行先である関東首都圏の中学校を訪問し、「田老を語り伝える会」を行う。

大勢の見知らぬ中学生に向かって、緊張しながらも真剣に自分の言葉で震災を語り伝える生徒たちは、この修学旅行の経験で大きく成長する。震災を語ることは故郷を語ること。首都圏との交流を通じて、故郷の宮古市田老地区のことをより深く知り大切に思う意識が強くなると同時に、表現力や発信力も向上するという。

地域の産業を知る

校区がある田老地区は養殖業が盛んで、特に「真崎わかめ」は、まちの特産品として知られている。漁業組合の協力の下、全学年が養殖体験に取り組むことも復興教育の柱のひとつだ。1、2学年ではウニの殻剥きやワカメの加工を体験し、3学年の修学旅行では「田老を語り伝える会」に加え、豊洲市場で「真崎ワカメ」の流通や評価を直に聴く。「最高級の評価を得ているにもかかわらず、『真崎ワカメ』がどこで生産されているのか知られていない」と



「亡くなった息子さんが残した糸を私たちに譲ってくれませんか。」

「困った…わかめを再開するにしても、糸がない。」



生徒会企画劇(R1.10月一中祭)
「真崎わかめ復活物語」

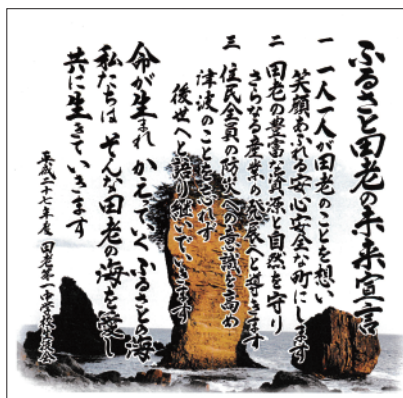
聞いたときには、田老をもっとアピールしなければと、修学旅行から戻ってすぐに地元の商店主や事業主を学校に招いて企画提案に取り組んだ。キャッチコピーや新商品の提案など実現可能なものもあり、地元事業主が生徒の声を形にすることで、生徒たちの自信に繋がっていったという。令和元年度の岩手県学習定着度状況調査(中2対象)において、「自分の住む地域は良いところがある」に、肯定的に回答した生徒は95%に達しており、郷土に誇りを持つ生徒が多いこともうかがえる。

地域と一体になる生徒会企画劇

年に一度、地域の人々が楽しみにしている学校行事がある。全校生徒による創作劇だ。田老防波堤の礎を築いた郷土の偉人、関口松太郎を主人公に描いてきた期間が長かったが、令和元年からは東日本大震災後に養殖ワカメを再開するまでを描くようになった。脚本、演出、照明、音響、役者すべてを生徒会が中心になり、全校生徒で試行錯誤しつつ取り組む一大行事。舞台と客席が一体となって泣き、笑い、ふるさと田老への想いを分かち合う地域と学校の連帯の場になっているのだという。

劇を創る視点で毎回大切にしていることがある。それは、暗い過去だけに目を向けるのではなく、ふるさと田老の明るい未来を描く視点である。劇のフィナーレでは、明るい希望の光と復興を担う決意を表す形で幕を閉じている。

赴任して3年目を迎えた照井正孝校長は語る。「年月の経過とともに復興にかけられる理念や情熱が失われることがあってはなりません。そのためにも校長のリーダーシップは今後一層求められるでしょう。知識としての防災教育ではなく、自分はどうしたいのかという意志をもち、その意志を他者に伝えることをより意識していきたいと考えています。それは



とりもなおさず、自分の将来を、未来をどう生きるかという根本を強くする教育の使命だと思うからです。」

生徒会が作成し、継承している「ふるさと田老の未来宣言」



津波で破壊された田老地区の防潮堤

福島県

浪江町立なみえ創成中学校 教諭

しばぐち まさたけ
柴口 正武

東京電力福島第一原子力発電所の事故により、福島県双葉郡8町村の住民は避難を余儀なくされ、全国に散り散りになった。8町村のひとつである浪江町の住民登録数は現在約16,400人だが、町内居住者は約1,600人。2017年3月に一部地域の避難指示が解除されたものの、今も多くの浪江町民が福島県内外での避難生活を送っている。

「居住制限区域」「避難指示解除準備区域」の避難指示が解除され、旧小中学校の廃校にともなって2018年4月、ようやく新設された町立の学校が「なみえ創成小学校」「なみえ創成中学校」である。敷地内には認定こども園も併設された。



現在、なみえ創成中学校で教鞭をとる柴口正武教諭は、震災時同双葉郡内の広野中学校に赴任していた。「地震と津波、そして原発という複合災害は、原発との共存による発

展を描いていたこの双葉郡の暮らしを一瞬にして破壊しました。私自身も、発災時は個人情報を手元にない状況下で生徒の安否確認にあらゆる手を尽くし、間借りした避難先の教室に除染した教材等を運び入れ、出席簿などの公的な文書も全て手作りしました。校長、教頭、事務職員と私の4人で2011年10月の授業再開を目指しましたが、それぞれの立場で行わなくてはならない業務は実に多岐にわたりました。」

柴口教諭は続ける。「震災後4年目から『ふるさと創造学』というタイトルで、双葉郡内の小中高校で総合学習を進めてきましたが、生徒の姿をみていて、この子たちにとってふるさととは何かと真剣に考え始めたのです。原発関連の企業や復興事業にかかわる人たちが転入してくるケースも出てきました。2019年度の総合学習のタイトルから『ふるさと』の文字を消し、「わが町」としたのは、ふるさとの捉え方が子どもたちによって違うということに教職員が気づいたから。「ふるさと」を強要してはいけなと。転入してきた町にあまり関心を示さない子どももいますが、それは当然ですね。自分の意志で移ってきたわけではないのですから。」

地元の子と転入の子でつくる「ふるさと学習」の実践

なみえ創成中学校は今年度初めて1年、2年、3年生の全学年9名が揃ったが、半数の生徒は浪江町との所縁はなく、なみえ創成開校時からいた子どもはたった1人。家庭環境も異なる子どもたちである。同じ敷地内にある認定こども園の園児は、現在27名だが、転勤族や町外居住の子どももいるため、なみえ創成小学校に全員が入学するわけではない。なみえ創成中学校の生徒数のシミュレーションは、2031年度の生徒数を14名と示す。

「この学校で学ぶ生徒は、地域という枠組みの中で一緒に生活してきたわけではなく、同じ学校にたまたま1年か2年の期間を過ごすだけになる子が多い。しかもその後の生活環境が変わることが考えられ、家族構成や居所が変わるということもあり得ます。そういう状況にある子どもたちであっても、子どもなりに浪江町に移ってきたことを受け止めようとしています。新しい仲間とともに新しい街を知るという『ふるさと学習』は、自分の立ち位置を自覚することに繋がりが、困難を乗り越えるときの心の拠りどころになると考えています。異なる事情を背負う子どもたちがお互いを認め合う過程が、子どもたちの自己肯定感を高め、大きく成長させるのです」と、柴口教諭は語る。

「ふるさと学習」実践例

浪江町紹介カードとTシャツづくり

Aさんは浪江町で生まれ育った「なみえっ子」の3年生。Bさんは昨年度県外から転入してきた同じく3年生の生徒だが、浪江町にはほとんど関心を示さなかった。この正反対の

ような2人で、「わが町なみえを発信する」という『ふるさと学習』をスタートさせた。

転入して間もないBさんが考えた「発信」のテーマは4つ。

①今の浪江町を発信するために、Tシャツかタオルに画像や説明を印刷する。②そのために、今の浪江町の特徴的なことを画像にする。③その画像に吹き出しをつけて説明する。④それにAさんが描いたキャラクターを入れてレイアウトを考える。というものだった。

ところが、何を発信するかというスタート時点で活動はストップ。なみえっ子のAさんがアイデアを出すものの、Bさんはやる気がない。無関心なのだ。かみ合わない。しかもそんなところに町外から2年生のCさんが転入してきた。もちろんCさんも浪江町についての知識はゼロ。柴口教諭は、2年3年合同の活動にすることにした。

3人の様子から、発信したいものや場所を、浪江町を知らない生徒たちに決めさせるのは無理があると判断した柴口教諭は、町役場・消防署等16テーマを決めたのだが、そのリストをみたBさんが「学校がない」と嬉しい指摘してくれたことで「なみえ創成校舎」を追加し、テーマを24までに広げることができた。

この24テーマで浪江町を紹介するカードをつくる際、Aさんは圧倒的な意欲でキャラクターを30種描き、Bさんはパソコン操作が得意という能力をフルに発揮した。Cさんは持ち前の真面目さで集めた情報を自分なりの言葉で文章を作成していき、ついにこの3人が協力しあい24枚の浪江町紹介カードを完成させたのである。

最終的なゴールであったTシャツづくりも、Bさんが奮起。サランラップを使って費用をかけずにプリントできる方法をインターネットでみつめてきたのだ。3人は熱心に取り組んだ。そして、24枚のTシャツを完成させ、道の駅に展示してもらえよう、子どもたちから直接道の駅の「駅長」に展示のお願いをするために行動をも起こしたのだ。

浪江町を知らない生徒が、浪江町を伝える活動に挑戦したこの取り組みは、教員主導だったという課題は残しつつも、地域のことをテーマにした「系統的」な学習や活動が可能であることを確認できた。

『ふるさと学習』が、原発災害の被災地の学校でも実践できることを実証できたのではないかと柴口教諭は明るい兆しをみる。

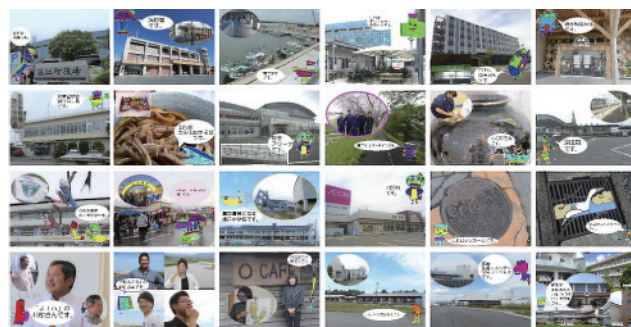


▲カード表面

カード裏面▶

粛々と明るく日々を重ねる

「震災から10年といわれますが、それはキリのいい数字であって、私たちにとっての節目は、『学校が再開した』『地元に戻った』『新しい学校ができた』というようなことでした。一日も早く、普通の学校に戻りたい。なみえ創成中学校に通うという決断をした子どもたちに、ここに来たことを絶対に後悔させないと強く思っています。そのために、極小規模中学校のメリットを最大限生かした教育を粛々と明るく積み重ねていく。それだけです。その歩みは遅いけれど、昨年より今年、今年より来年と、確実に前に進んでいます。どうか福島第一原子力発電所の事故とその後の教育復興の積み重ねを忘れないでください。原発は全国にあります。もし事故が起きたら、という実証がここ双葉郡8町村にはあるのです。」柴口教諭の実践は、浪江町の復興とともに、これからも続く。



完成した24枚の「なみえ町紹介カード」

取材を終えて

東日本大震災から10年という節目を迎え、今一度東北3県の復興からみた教育現場の声をレポートし全国の読者に届けたい、その趣旨の下、コロナ禍のリモートインタビューを行ったが、想像を超える現実の重さと歩みを止めない現場の姿に、心が激しく揺さぶられた。それは、自らも被災し家族を失いながらも、教育の灯りを消さなかった教職員たちの強靱な精神と行動による事実の積み重ねが、想像をはるかに上回ったからだと思う。

震災を体験した者でなければ語ることのできない言葉があり、今は震災を知らない子どもたちがその言葉を引き継ぐとしている。

当会の教育振興事業助成金が、福島県のなみえ創成中学校での「ふるさと学習」に役立てられていたことは大変に嬉しいことだった。

公益財団法人 日本教育公務員弘済会はこれからも全国の教育実践を応援していきます。

秋号に続き冬号では、震災を乗り越え成長した児童生徒の10年を特集します。ご期待ください。

当会の会員制度規程が変わります。

令和4年
4月から

福利厚生サービスの付与期限を撤廃

会員制度規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益財団法人日本教育公務員弘済会(以下「当会」という。)の会員制度に関し必要な事項を定め、その適正かつ円滑な運用を図ることを目的とする。

(会員の定義)

第2条 「会員」の定義を、次のように定める。

「当会の趣旨に賛同し、第3条の入会資格を満たす者のうち、第4条に定める入会申込をした者」

(入会資格)

第3条 当会に入会できる者は、次の各号に該当する者とする。

- (1) 各都道府県、市(特別区を含む。)町村等に設置された公立の学校・幼稚園、その他の教育機関に勤務する教職員及びこれに準ずる者又はこれらの退職者。
- (2) 前号でいう「学校・幼稚園、その他の教育機関に勤務する教職員」とは、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第31条」に規定する職員をいい、「準ずる者」とは、次に掲げる者をいう。
 - ① 当会及び当会支部の役員及び職員
 - ② 国立学校・幼稚園及び私立学校・幼稚園の教職員
 - ③ 都道府県、市(特別区を含む。)町村等に設置された教育委員会の職員
 - ④ 教職員組合、教職員互助会、学校生活協同組合等教職員団体の役員及び職員
 - ⑤ その他理事会が入会を適当と認めた者

(入 会)

第4条 会員になろうとする者は、入会申込書を理事長に提出しなければならない。

- 2 前項の規定により理事長が入会申込書を受理した日から、第6条に定める権利及び義務が発生する。ただし、福利厚生サービスの利用は、会員証が届いたときから有効となる。

(会員証)

第5条 会員には、会員証を発行する。会員証には、福利厚生サービスの利用証を付帯する。

(会員の権利及び義務)

第6条 会員は次の権利を有し、義務を負う。

- (1) 当会の行う事業及び行事に参加する権利
- (2) 当会の福利厚生サービスを利用する権利
- (3) 当会の会員に関する諸規程を守る義務
- (4) 届出事項(住所、氏名等)に変更が生じたときに通知する義務

(退 会)

第7条 会員は、退会届の提出により、任意に退会することができる。また、次の各号のいずれかに該当する場合には、退会となる。

- (1) 死亡したとき
- (2) 除名されたとき
- (3) 2か年連絡不能のとき
- (4) 当会が解散したとき

(除 名)

第8条 会員が当会の名誉を傷つけ、その他会員としてふさわしくない行為を行ったときは、理事会の議決をもって除名することができる。

(細 則)

第9条 この規程の運用のために必要な細則は、別に定める。

(規程の改廃等)

第10条 この規程の改廃は、理事会の決議を経て行う。



当会の会員とは

当会の会員は、会員制度規程に記載のとおり、「当会の趣旨に賛同し、入会資格を満たす者のうち、入会申込をした者」です。もう少し詳しくご説明しましょう。

■**当会の趣旨に賛同**…当会の事業の目的は、青少年の健全な育成(奨学事業)、有益な研究に対する助成等(教育振興事業)、教育関係者の福祉向上等です。これらの目的は定款第4条に定められており、こうした趣旨にご賛同いただく方々を会員としています。

定款第4条

この法人は、青少年の健全な育成に資するため、有為の学生・生徒に対する奨学資金の貸与及び給付、教育一般の特に有益な研究に対する助成等を行い、教育、文化の向上、発展に寄与するとともに、教育関係者の福祉向上を図ることを目的とする。

■**入会資格を満たす者**…基本的には教職員及び教育関係者の方々です。詳しくは会員制度規程の第3条をご覧ください。

会員の特典

会員になっていただいた方は、当会が契約する福利厚生サービスを利用することができます。また、当会が提携している保険会社による生命保険及び損害保険に加入することができます。

会員になるための費用は一切かかりません。

福利厚生サービスとは

日常生活にかかわる様々なサービスを、当会が契約している福利厚生サービス会社を通じてお届けするものです。具体的には、各種利用料金の割引(ホテル・スポーツクラブ・レジャー施設・映画館等)、住宅購入割引、グルメ優待、引っ越しサービスや冠婚葬祭のサポート、育児サービスなど多岐にわたっています。

当会の歴史と事業

当会は、教職員の相互扶助を目的に、昭和27年、宮城・静岡・茨城・岡山の4県をもって創立され、その後、47都道府県に支部を持つ財団法人として、また平成24年には公益財団法人へ移行し、「民による公益の増進」に努めています。今日、教育振興事業等による助成額は、数ある助成財団の中で第3位(約36億円:令和元年)を占める規模となりました。今後も一人でも多くの教職員及び教育関係者のご賛同をいただき、日本の教育界の発展のために尽くしてまいります。

●1952年(昭和27年)

日本教育公務員弘済会創立

●1955年(昭和30年)

財団法人設立許可

●1955年(昭和30年)

奨学事業開始(奨学生4名採用)

●1956年(昭和31年)

研究助成事業開始(研究助成36件)

●1995年(平成7年)

「日教弘教育賞」の開始

●2006年(平成18年)

給付奨学金事業開始(初年度1億4,377万円の給付)

●2012年(平成24年)

公益財団法人へ移行(平成24年3月26日認定)



心に残る子どもたち

「盲学校」と「ろう学校」に関わらせてもらって

山路 哲弘

和歌山県立和歌山ろう学校 教諭



「右! 右に曲がって! 止まって!」と無線機に叫んだが、曲がることなく視界からMさんが消えてしまいました。そこは「雪のつどい」で訪れた長野県白馬乗鞍スキー場、実はMさんは先天性の全盲の女性です。盲学校で1年目の私はMさんの前をストックを叩きながら誘導したり、無線機で進む方向や周りの状況を伝えながらMさんと1対1で滑っていたのです。

ゲレンデ脇の窪地に突っ込んで、「転けたあ」とニコニコと微笑んでくれました。その後もガンガン滑るMさん。申し訳ない気持ちでいっぱいのまま、何もなかったかのように思いつき滑りを楽しんでくれました。全盲の方がなぜこんなに滑ることができるのでしょうか。

その疑問がアイマスクをつけて白杖を使った歩行訓練を受ける中で実感することができました。つまり「視覚に障がいがあると視覚以外の全身の感覚が研ぎすまされる。」ということです。歩行訓練を重ねることで頭の中に様々な情報を織り込んだ地図を描くことができ、それを頼りに1人で行動することができるのです。

見えている私たちにとって日頃聞いている何気ない情報、例えば、自動販売機のモーター音、商店での宣伝音、遠くから聞こえる自動車の音、そして、かすかな道路の起伏や傾斜が貴重な情報となるのです。交差点では吹き抜ける風が変わるので全身で分かります。そんな様々な情報を瞬時に判断し活用していく力がMさんの滑りにつながっていると思います。さらに、Mさんは生まれた時から視覚に障がいがあるというのも大きな要因でもあるのです。

その後、月日が流れ、ろう学校の教育支援部で電話に出ると「出産した病院で新生児聴覚スクリーニングでリファ（再検査が必要）と言われ、医大に行って精密検査を受けると高度難聴と言われて…」と、生後2ヶ月の乳児のお母さんからの相談の電話でした。

教育支援部では毎年、このような電話を数人受けることになります。出産の喜びからいきなり難聴という宣告を受けることになり、電話から聞こえてくる声はだんだん涙声になってしまいます。このような場合、先ずろう学校へ教育相談に来ていただき、直接お会いして話を聞かせてもらおうと共に、同じ聴覚障がいの乳幼児や保護者との出会いも設け、ろう学校の幼稚部や小・中・高等部の生徒の様子も見てもらうことで、前向きになるきっかけを探っていきます。

盲学校の後、ろう学校で勤務させていただいた30年あまりの間に聴覚障がい者を巡る環境が著しい変貌を遂げました。それは「人工内耳」・「デジタル補聴器」・「補聴援助システム」・「携帯（スマホ）」等々の出現です。テクノロジーの進歩により困難さが軽減された面が数多くあります。

しかし、いくらハードが進歩しても、大きな課題が依然とあるのです。それは「聴覚障がいは理解されにくい障がいであること」、つまり視覚障がいに比べて体験することが難しく、きこえ方がひとり一人全く違うので、その困難さや配慮を周りの方に理解していただくには相当な手立てや支援が必要であることです。

さらに、ろう学校の生徒は「聞こえにくい仲間」が身近にいるので孤立感を抱くことはないのですが、普通校にいる聴覚に障がいのある生徒は、「疎外感」や「孤立感」をもっている場合が少なくなく、さらに聴覚に障がいがあることすら気づかれず配慮が全くないうまになっているケースが未だにあり、医療と連携しながら支援を進めていくのがろう学校の大きな役割のひとつでもあります。

視覚障がいや聴覚障がいに焦点を当てて書かせていただきました。それぞれの障がいについて考えていただく機会になれば幸いです。

アップデートさせてくれた子ども達



宮里 寿子

沖縄県那覇市立天久小学校 校長

心に残る子ども達。教職三十数年、多くの教え子ができた。

2年、3年、6年と3度も受け持った子達。中学ではやんちゃをしていたので、運動会、卒業式と学校行事があるたび顔を出して声をかけていた。成人式では真っ赤な羽織袴に金髪の集団ではあったが、儀式は厳かに行われ、お世話になった先生方や保護者への感謝の言葉を忘れなかった姿は忘れられない。この子達以外にも、進学するたびに報告をくれる子達、沖縄本島に来る時は連絡をくれる与那国の子達、みんな心に残る子ども達である。学級担任だった頃の私は、良いことは大いに褒め、悪いことは悪いと指導にメリハリをつけることが子ども達との信頼関係を築き、それが卒業しても繋がるのだと思っていた。

だが、しかし…。

はじめての校長で赴任した学校は、これまで私が学級担任として上手くやってきた経験が全く通用しなかったのである。暴言を吐く、物を投げる、学級からとびだし徘徊、子ども同士の暴力、地域でのトラブル等、あちらこちらで不適切な行動が多くあった。そこで私は、これまでの悪いことは悪いと厳しい対応をすればすぐ良くなるだろうと指導するが、反省どころか、さらにヒートアップして暴言の嵐。校長なんて関係ないしまつである。

だが、そんな落ち着いた子ども達でも、教頭先生や一部の先生の話は素直に聞いている姿があることに気づいた。よく見るとその先生方にはある共通点があったのだ。不適切な行動をしたときは、「指導」から入るのではなく、「どうしたの?」とその子達の話に耳を傾け、寄り添う。行動そのものを指導するのではなく、不適切な行動には何か理由があると

丁寧に聞き取り、それを取り除いていく。また常にその子達が何に興味があり、何が得意であるかを探るなど、児童理解にも努めていたのである。「指導が通らない」と子どものせいにするのではなく、まずは、教師から積極的に子ども達からの信頼を得ようとしていたのだ。

そこで、それをヒントにこれまでの指導や考え方を全職員にアップデートさせ、不適切な行動には着目せず、適切な行動に着目し見逃さない。その子達の以前の姿と比べて成長を評価する「垂直成長」で見ると、その子達の好きや得意を活かした出番を作るなど、学校職員全体で共通理解、共通実践を図ることにした。その結果、不適切な行動は激減、その子達に笑顔が増え、キラキラと輝き始めるのを目の当たりにした。そして3月。その子達が卒業した。「校長先生、迷惑かけました。ありがとうございました。」と挨拶に来たときは、涙が溢れ止まらなかった。

私をアップデートさせてくれた子ども達。それが、私にとって一番心に残る子ども達である。





歯周病とはどのような病気か

～ 国民の約7割が歯周病 ～



わかばやし けんじ
若林 健史

歯科医師

医療法人社団真健会（若林歯科医院、オーラルケアクリニック青山）理事長

1982年、日本大学松戸歯学部卒業。89年、東京都渋谷区代官山にて開業。2014年、代官山から恵比寿南に移転。日本大学客員教授、日本歯周病学会理事を務める。歯周病専門医・指導医として、歯科医師向けや一般市民向けの講演多数。テレビCMにも出演。AERA dot.の連載をまとめた著書『なぜ歯科の治療は1回では終わらないのか？ 聞くに聞けない歯医者さんのギモン40』がある。

「歯みがきで歯周病予防」「歯周ポケットケア」…。

ドラッグストアに行くと、歯周病関連の商品がたくさん、並んでいます。近年、歯周病が急増しています。歯科医院が診る患者さんも、虫歯ではなく、圧倒的に歯周病の人が多くなりました。

厚生労働省が実施した最新の「歯科疾患実態調査」（2016年）では、歯周病の可能性が疑われる4ミリメートル以上の歯周ポケットが確認された人は15歳以上では30%以上、30歳以上55歳未満では40%を超えています。そして、最も多い65～69歳では60.5%もありました。この割合はすべての年代において、調査のたびに増えているのです。

10～14歳については、歯周ポケットのデータこそ出ていませんが、歯ぐきからの出血が24.6%に認められています。歯ぐきの出血は歯周病の重要なサインであり、子どもにも歯周病は少なからず起こっていることがわかります。

なお、この調査を含む複数のデータから、日本人の約7割が歯周病、ともいわれています。「歯周病は国民病」といわれるゆえんです。

なぜ、これほどまでに歯周病が増えているのでしょうか？ 一番の理由として、歯周病の診断・治療法が確立し、病気が見つかるようになったことがあると思います（かつて歯周病は歯槽膿漏といわれていましたが、今のように病気の正体が明確ではなかったため、歯科に行く人も多くはなかったのです）。

次に、歯周病はむし歯と違って歯ぐきの内側から歯周組織を侵していく病気であるため、口の中を見ても自分ではその変化がわかりにくいこと。さらに進行するまでほとんど自覚症状がないことです。

進行して重症になるまでむし歯のように痛むこともありません。また、前述のように歯ぐきの出血はとても重要なサインなのですが、多くの人は、「歯ブラシで傷がついたのだろう」程度に思い、やり過ぎてしまいます。しかし、健康な歯ぐきはかなり強く歯ブラシをあてても出血しません。出血は歯周病によって炎症が起こり、血管が切れやすくなっているためなのです。

また、健康な歯ぐきはピンク色で、歯周病になると炎症のために赤くなります。しかし、これもまた、普段から鏡で自分の歯ぐきを見る習慣がないとなかなか気づきません。

結果、「違和感があるなあ」と歯科医院を受診する頃には、歯周病が進行していて、すでに歯周組織の奥、顎の骨である歯槽骨が減り始め、歯がグラグラと動くようになってきている人が多いのです。こうしたことから、歯周病は「サイレント・キラー（静かな殺し屋）」といわれています。

つまり、この記事を読んでいる皆さんにも歯周病が見つかる可能性は非常に高いのです。まずは歯周病のセルフチェック表で自身の症状をチェックしてみてください。あらためて歯周病の正体について解説します。

歯周病は歯周組織が侵される病気だと申し上げました。歯周組織は「歯を支える組織」のことで、歯ぐき、セメント質

(歯根の表面)、歯根膜(セメント質と歯槽骨の間を結び付ける組織)、歯槽骨(顎の骨)をさします。歯周病になるとこれらの組織が徐々に破壊されていきます。

こうした問題を引き起こす最大の犯人は歯周病菌です。歯周病菌は虫歯菌と同じように唾液などを介して家族間などで感染し、例外なく、ほとんどの人の口の中に生息しています。ただし、その数が少ないうちは問題ありません。口の中が汚れることで、歯周病菌が増殖し、活発になることが発症の引き金です。

具体的には食後の歯みがきなど口腔ケアが不十分であること。歯や歯ぐきに食べかすが残ると、これをエサにしようとする細菌が集まり、細菌の集合体である「プラーク(歯垢)」ができます。プラークは歯の表面にネバネバとくっつく黄白色の粘着物で、強固な膜で覆われており、バイオフィルムともいわれます。

プラークが歯と歯ぐきのすき間などに残ると、歯周病菌がバイオフィルムの中でどんどん増えていきます。増殖した歯周病菌が最初にターゲットにするのは歯ぐきで、じわじわと粘膜を壊していきます。

一方、私たちの体には外敵から身を守る免疫機能があり、歯周病菌が活動し始めるとこれを察知し、毛細血管を通じて歯ぐきに細菌を殺す働きのある白血球を送り込みます。こうして歯周病菌と白血球が戦った結果、炎症反応が起こり、歯ぐきの腫れや出血が起こるのです。

そして歯周病は次のように進行していきます。

第一段階「歯肉炎」

前述のように歯周病菌で歯ぐきが攻撃をされ、炎症反応が起こると歯肉溝が徐々に深くなっていきます。この結果、「歯肉ポケット(仮性ポケット)」と呼ばれる溝ができます(2~3ミリメートル)。これが歯周病の初期段階である「歯肉炎」です。

第二段階「軽度歯周炎」

さらに進行すると歯周病菌は歯肉溝から歯ぐきの奥に進み、セメント質や歯根膜に至ります。このように歯ぐきの奥へと進行するのは歯周病菌が空気を嫌う嫌気性菌であるためです。参考までに、ミュータンス菌に代表される虫歯菌は好気性菌で、空気のある環境を好みます。

歯ぐきの奥が破壊されると歯肉溝は歯肉ポケットから、「歯周ポケット(真性ポケット)」と言われる状態に進行します。歯周ポケットは治療をしても歯肉溝が元に戻りにくい状態です。ここからは歯肉炎ではなく、歯周炎とされます。

歯周炎の最初の段階(軽度歯周炎)では歯ぐきの炎症や腫れ、出血のほか、強い口臭も出てきます。口臭は歯周病菌が口の中の食べカスを分解するときに発生する「揮発性の硫黄化合物」によるもので、とても嫌な臭いがします。

さらに歯を支える歯槽骨が減り始め、X線画像で見ると歯槽骨の高さが低くなっているのがわかります。このため、歯もわずかに動くようになります。

また、歯ぐきの一部が退縮し、本来、歯を覆っていた位置から下がり、歯の根元付近が露出していきます。歯と歯の間の歯ぐきも下がるので、すき間が気になるようになります。

第三段階「中等度歯周炎」

歯周病菌がさらに歯の根の先に入り込むと、歯ぐきの退縮が進み、歯の根元がさらに露出します。多くの人が歯ぐきの違和感や歯の動きにはっきり気づくようになります。また、歯のすき間が広がり、そこから息が漏れることによって発音への影響も出始めます。口の中のねばつきや口臭なども悪化します。歯周ポケットはさらに深くなります(4~6ミリメートル)。

第四段階「重度歯周炎」

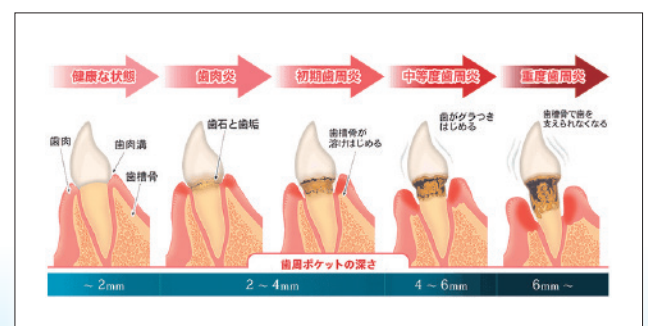
重度歯周炎になると歯周組織がさらに破壊され、歯ぐきは退縮し、歯のすき間がさらに目立つようになります。歯槽骨も大きく失われ、X線画像ではわずかに残る程度になります。歯周ポケットは6ミリメートル以上になります。

歯ぐきから膿や血液が常に出ることもあり、口臭は一層強くなります。歯は大きくぐらつき、十分に食べ物を噛めなくなります。歯が本来の位置から動いて歯並びが悪くなるなどさまざまな影響が出てきます。

第五段階「歯の喪失」

さらに歯槽骨が失われると土台を失った歯は自然に抜けてしまいます。

歯科治療ではよくインプラントが話題になりますが、インプラントを入れる一番の理由は、歯周病による歯の喪失なのです。





歯周病の一部には短期間で急速に進行するものもありますが、多くは10年、20年と時間をかけてじわじわと進行します。よくなったり、悪くなったりするのも特徴で、これには体の免疫力や生活習慣の影響があります。

例えば仕事が忙しくて疲労したり、睡眠不足が続くと、歯周病が悪化する、親の介護を始めてから症状がひどくなった、などのケースはしばしばみられます。

生活習慣についてはヘビースモーカーの人に歯周病が起こりやすく、歯周病悪化のリスクが吸っていない人の5～8倍です。ヘビースモーカーの人は歯周病の治療をした場合、非喫煙者に比べて効果が得られにくいことがわかっています。タバコの成分の一つであるニコチンは毛細血管を収縮させる働きがあります。このことが歯ぐき

の血流を悪化させ、体の防御機構が低下することが一因と考えられます。

このほか、重度の糖尿病の人は歯周病が悪化しやすいことがわかっています。歯周病もまた、糖尿病を悪化させやすいという具合に双方向に悪影響があります。

なお、歯周病菌は口の血管を通じて全身の臓器に影響し、糖尿病以外にも認知症や心臓病など、さまざまな病気にかかわることがわかってきています（これについては、次回、詳しくお話しする予定です）。

早期発見が難しい歯周病ですが、きちんと治療をすれば進行をストップさせることができます。ぜひ、これを機に一人でも多くの方に歯周病の検査を受けていただきたいと願っています。

歯周病進行度セルフチェック表

思いあたる症状を
チェックしましょう！

（出典：日本臨床歯周病学会）

全体

- ☐ ① 口臭を指摘された・自分で気になる
- ☐ ② 朝起きたら口の中がネバネバする
- ☐ ③ 歯みがき後に、毛先に血がついたり、すすいだ水に血が混じることがある

歯肉の症状

- ☐ ④ 歯肉が赤く腫れてきた
- ☐ ⑤ 歯肉が下がり、歯が長くなった気がする
- ☐ ⑥ 歯肉を押すと血や膿が出る

歯の症状

- ☐ ⑦ 歯と歯の間に物が詰まりやすい
- ☐ ⑧ 歯が浮いたような気がする
- ☐ ⑨ 歯並びが変わった気がする
- ☐ ⑩ 歯が揺れている気がする



チェックが1～3個の場合

▶ 歯周病の可能性があるため、軽度のうちに治療を受けましょう。

チェックが4～5個の場合

▶ 中等度以上に歯周病が進行している可能性があります。早期に歯周病の治療を受けましょう。

チェックがない場合

▶ チェックがない場合でも無症状で歯周病が進行することがあるため1年に1回は歯科検診を受けましょう。

判定

『菓子工房momo』で紡ぐ 新たなお縁

巽 康眞 さん〈70歳〉 道子 さん〈66歳〉（京都市在住）

京都駅から電車で約15分。御陵（みささぎ）駅からほど近い住宅地に、菓子工房momoはある。手書きの看板に迎えられ、チャリンとドア鈴を鳴らして扉を開けると、「いらっしゃいませ」と元気な声が飛んでくる。教師を勤めあげたご夫妻が2019年にオープンした人気のケーキ屋さんだ。道子さん（66）がお菓子を焼き、康眞さん（70）がコーヒーを淹れる。手づくりジャムやクッキーが並ぶ棚、そしてケーキが並ぶ冷蔵ケースの横にはイートインのスペースがあり、ご近所さんや教え子たちが立ち寄って近況報告をしにきたり、介護の愚痴を週一回だけこぼしに来るご婦人がいたり、気軽に立ち寄ることのできる憩いの場にもなっている。季節感にあふれ、安全な素材でつくられる宝石のようなケーキは、噂をききつけた全国の甘党が足を運び、週三日（木・金・土）だけ並ぶ15種類ほどのケーキはすぐに売り切れるという評判のお店だ。

奥さんの道子さんは、「特別支援学校の理科教諭として定年を迎えた3月30日の翌日、製菓学校に行こうと思いついたのです。お菓子づくりは幼いときから好きでしたから、きちんと習ってみたいと。すぐに製菓学校に電話して、今からでも入学できるか聞いたら書類が揃えばOKと言われ、速攻で入学しました（笑）。それまで教える側だったのが教えられる側になるのも新鮮な一年でした。」

ご主人の康眞さんは、65歳まで中学の国語教諭を勤めあげた後にコーヒーアカデミーに入学。菓子工房を盛り立てようとコーヒーについて一から学び、猛勉強に明け暮れた。新鮮さが命のコーヒー豆の仕入れ先も決め、夫婦で力を合わせ菓子工房momoをオープンしたのである。「教師時代はサッカー部の顧問もしていて、土日もなく仕事。地域にも関わることができませんでしたし、妻や家族には迷惑をかけました。せめてもの罪滅ぼしでしょうか」と照れて笑う康眞さんは、趣味で観世流の謡いも続けている。

地元の小学校で、4年生の「総合的な学習」の授業に招かれるようになって3年が経った。「地域のものづくり」について話をしているが、「ケーキは毎日食べるもので

はなく、お祝いやご褒美など特別なときに食べるもの。このケーキで家族が笑顔になりますように。ケーキに出会ってくれてあ

りがとうの気持ちで作っていると話をすると、話を聞いた子どもたちがお母さんと一緒にケーキを買いにきてくれることもあるのです。お母さんたちから、『子どもがいつもご飯をつくってくれてありがとうと言ってくれるようになった』と聞くと嬉しいですね」と道子さんは目を細める。

定年後をどう生きるか。「やらなかったら、そこまで。定年前から準備をして走り出すのもよし。ギリギリになって思いついたことに飛びつくのもよし。途中で目標が変わることもあるでしょう。それでも一歩を踏み出すと人生が変わっていきます。私たちも教師時代とは違うご縁が広がっていききました。自分のやりたいことを探して、新しい出会いをぜひ楽しんでください。私たちも、まさかケーキ屋さんになるとは思わなかったのですから（笑）。」

今日も様々な人が菓子工房momoを訪れ、笑顔になっていく。



教育の振興を目指す 日教弘の事業

日教弘へき地学校教育支援事業

へき地学校教育支援事業は、交通条件及び自然的、文化的諸条件に恵まれない山間地、離島その他の地域に所在する学校の教育内容を充実することに寄与貢献する教育振興事業です。

(公財)日本教育公務員弘済会では、平成28年度を試行事業とし、平成29年度から令和3年度の5年間、この事業を実施してきています。

へき地学校は「級」で区分されています。1級から5級までと、準へき地学校の合計6段階があり、数字が大きいほどへき地性の程度が大きいことを表しています。

日教弘では、「へき地教育振興法」に基づいた指定学校のうち、へき地級2～5級の学校を対象として事業を実施しています。

具体的な事業としては、以下のようなものがあります。

(1)へき地学校が持つ課題等に対して研究・活動を行う事業

(例：少人数・小規模校における効果的な授業方法の研究、意欲的に学ぶ子どもを育てるための指導研究)

(2)へき地学校の課題を解決するために備品・教材を購入し教育環境を整備する事業

(例：ICT教材、体育用品の提供)

(3)地域や保護者、近隣の学校及び各団体と連携して行う事業

(例：運動会、公開授業、学芸会、各団体との協賛事業)

■助成実績

年度	助成校数	助成総額
令和2年度	232校	14,239,733円
平成31年度	265校	16,542,661円
平成30年度	382校	21,626,489円
平成29年度	223校	13,628,600円
平成28年度	237校	16,106,042円

平成28年度から一輪車講習会事業を始めました。当事業はへき地小学校等から募集をし、(公財)ベルマーク教育助成財団、(公社)日本一輪車協会、ジブラルタ生命保険株式会社、全国へき地教育研究連盟との協力により行われます。

「一輪車」を児童に教えてくれるのは、一輪車の全国大会や国際大会で数々の優勝経験がある方々です。

講師の技の紹介と模範演技が最初に行われます。レベルの高い技を披露する模範演技では、児童だけでなく、大人からも歓声の声上がるほどです。

その後、一輪車に乗ることができない児童と乗ることができる児童に分かれ、実技指導が行われます。

乗れない児童には、参加している周りの大人が手を貸し、肩を貸し、講習会の前は乗ることができなかった児童も数メートル進めるほど上達します。少しずつ前に進めることに喜びを感じた児童もたくさんいます。

乗れる児童には、グループで行う技を講師が伝え、何度も何度も繰り返し練習します。

一輪車講習会では毎回子どもたちの一輪車に対する姿勢や成長の早さなどに驚かされます。子どもの成長が目に見えることで、大人も一生懸命サポートします。この講習会は、一輪車を通して、学校全体の活性化や子どもたちの成長に大いに役立っています。

一輪車講習会

先生からの声

児童が夢中になるものができて良かった。

児童が休み時間も練習していた。

児童の笑顔を多く見ることができた。

児童からの声

一輪車がもっと好きになった！

一輪車に乗れるようになった！

講師の先生の演技がかっこいい！



岐阜県郡上市立 高鷲北小学校



へき地教育を取り巻く環境は、学校の小規模化や統廃合、地域格差の拡大など、大変厳しい状況にあります。

しかし、へき地学校には、教師と児童生徒との距離が近く、他学年の児童と一緒に授業を受ける場合も多く、都市部の学校では見られない光景があります。また、地域とのつながりも強く、学校行事に地域の方々が大勢参加する様子も見取れます。

このへき地学校教育支援事業は、当初の予定では令和3年度に終了の予定ではありましたが、継続することを当会理事会で決定しました。へき地学校での先生や児童生徒の感謝の声や喜びの声が多く、事業を行う意義を強く感じることができています。令和4年度以降もへき地学校教育支援事業を継続的に行っていくことで、更にへき地学校の発展に貢献して参ります。

■へき地学校教育支援事業助成校の実践例

	研究・活動主題	学校からの成果報告	助成金の使途
A校	自分の考えをもち、集団のなかで考えを深めていく児童を育てる指導法の研究	近隣に公立の図書館がない本校のようなへき地学校の児童にとって、学校図書館の充実が必要不可欠であり、今回の助成金で整備した児童図書も児童の学力育成に大きく役立った。	学校図書一式、図書館用ペン
B校	へき地校の地域連携の取り組み	今回の助成金をいただいたことによって、生徒の防災教育がより充実したものになったことが大きな成果であった。	中学校との合同避難訓練、避難所設営訓練用タープテント、訓練用トランシーバー
C校	活動に満ち、主体的に物事に取り組むことのできる生徒の育成	「自分の考えが上手く伝わるよう、資料や話の組み立てなどを工夫して発表」「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする」力を向上させることにつながった。	可搬型乾燥台、デジタルカメラ、ブルーレイ・プレイヤー、ケーブル、ホワイトボード(生徒の発表・意見交換用)
D校	学力向上に向けた学習環境の充実を目指して	へき地教育において学習へのICTの導入は、大きな学習効果をもたらすという成果があった。	小学国語3年学習ソフト、小学国語6年学習ソフト
E校	地域を誇りに思う子どもの育成を目指すへき地教育の推進	本事業を通して子どもたちのなかに地域を愛する「郷土愛」が一層育まれるとともに、主体的に学ぼうとする姿が少しずつ見られるようになってきたことが成果である。	外部講師への謝礼、図書費
F校	へき地学校における特別支援教育の理解と推進のために	研修の成果を反映した教材、掲示物、通信を作成し、整備した教育環境を活用した。視覚情報を効果的に学習に活用することで、より学習に集中し学習の目的を達成することができたと捉えている。	教材、掲示物印刷機整備
G校	へき地校バスケットボール交流会	各校においては、バスケット交流会に参加することを目標にして積極的に練習し、仲間意識の醸成と体力向上の一助となった。この一日だけでもずいぶん他校の子どもたちと仲良くなることができたようだ。貴重な機会を得ることができた。	児童輸送代、試合球、会場運営、医薬品、資料作成用消耗品
H校	体験・交流活動を通して健やかな心と確かな学力を身につける子どもの育成	約50名の地域の方々に公演に参加いただき、ジャズの演奏体験を通して、子どもたちと一緒に音楽を楽しむことができ、とても実りのある取り組みとなった。	公演およびジャズ演奏者謝礼



青森県立 八戸水産高等学校

青森県で唯一の水産・海洋系高等学校。

「海洋生産科」「水産食品科」「水産工学科」の本科と「漁業科」「機関科」の専攻科を設置し、海のスペシャリストを養成する

全国の高校生徒数の0.3%が在籍する水産高校は、北海道から沖縄まで46校。海のスペシャリストを育てる希少な専門高校だ。女子生徒も増え、ロボット技術や水中ドローン、AIの活用など、スマート水産業への移行が進み、かつての「海は男の世界」「漁師の学校」というイメージは昔のものとなりつつある。

開校113年の伝統をもつ青森県立八戸水産高校も、そのひとつ。商業捕鯨船の基地としても知られる八戸市は、港とともに栄え、漁業のまちとして発展してきた。地域の人々から愛情込めて「八水高(はっすいこう)」と呼ばれる八戸水産高校の最寄りの駅は八戸線の「鮫」駅。この駅名もまた、その昔鮫の退治場があり、水揚げした鮫肉と山の恵みを交換するために、海の民と山の民が交わった要衝地から名付けられたという。

その地で歴史を重ねてきた八戸水産高校が、今全国から注目されている。八戸市に隣接する階上(はしかみ)町と官学連携に関する協定を締結(平成30年7月24日)し、「海洋生産科」「水産食品科」「水産工学科」の全3科をあげての取組みが6年目を迎え、試行錯誤を経てようやくゴールへの道筋がみえてきたのである。

アブラメという魚をご存じだろうか。全国では「アイナメ」と呼ばれ、春から夏にかけて旬を迎える白身の魚である。刺身でも天ぷらでも、小さなものは味噌汁に入れても美味しく食べられるポピュラーな高級魚。階上町が町の魚として定めるこのアブラメのブランド化を進め、「大間のマグロ」のような全国で認められる「ブランド魚」を目指している。すでに地元の「ハマの駅あるでい〜ば」にはアブラメの燻製等の商品が並び、食堂にはアブラメ御膳が登場しているが、目指すゴールはアブラメの養殖だ。

「獲る漁業から作る漁業へと、この40年で変化してきました。気象変動による水温や海流の変化もあります。魚が獲れなくなる。そんな時代がこないとも限

りません。安全性の確保、安定供給という課題解決のためにも、安全な餌を与え、管理された養殖魚という選択肢を増やす必要があるのではないのでしょうか。」アブラメの養殖を目指し、生徒と共にデータの蓄積を推進してきた島田高宏教諭(海洋生産科)は語る。アブラメは高級魚であるものの、遊漁対象魚としてのイメージが強く、あまり市場では見ることができない。故に、生態の研究や養殖技術は未知の領域だった。卵を孵化させ標識を付けて放流し、生態を調査すると同時に、PR活動、飼育実験(海洋生産科)やアブラメを使った食品の開発(水産食品科)、無水活魚輸送技術の開発(水産工学科)を進行させた。結果、アブラメは成長速度が速く、水質変化にも強い魚であること、さらに縄張り意識は強いが、同時孵化させたアブラメはケンカせず長期飼育ができること、寒い地域が向いていること、高い技術力が必要なこと等、アブラメの養殖は、階上町と青森県栽培漁業振興協会、八戸水産高校、その他多くの関係機関がタッグを組むことで実現するということが、この5年間の調査で実証されたのである。

八戸出身で海と漁業が身近だったという福嶋信校長は、「全国にある水産高校に目を向けてほしいと願っています。この『きょうこう』を読まれる皆さんの学校の近くにも、地域の水産高校がきっとあるはず。それぞれに魅力的な取組みが行われていると思います。SDGsの目標にも掲げられている『豊かな海を守る』を実現するためにも、ぜひ地域の水産高校に目を向けていただきたい」と、海と地球の未来を力強く見据える。日本初となる八戸水産高等学校の官学連携の取り組みは、漁業と地域を間違いなく元気にすることだろう。



アブラメ



福嶋 信 校長



島田 高宏 教諭



ハマの駅「あるでい〜ば」でのPR



標識放流前のアブラメの稚魚

ジブラルタ生命ではビデオ通話を利用した オンライン対面による コンサルティングサービス を実施しています！



ご契約者の皆さまはご契約内容に
関する各種ご相談など保全サービス
を受けられます。

保険を検討中のお客さまは各種情報
提供やコンサルティングサービスを
受けられます。

安全/安心 新型コロナウイルス
感染症の予防の観点から、安心して
ご利用いただけます！

簡単/便利 家族と一緒に説明を
お聞きいただけます！ご都合に合わせてご自宅から
も受けられます！



お客さまにご用意いただくもの

- PC、スマートフォン、タブレット端末
- インターネット接続環境

※ビデオ通話ではデータ通信が発生しますので、
ご自宅でWi-Fi等に接続して利用されることを推奨します。



セキュリティについて

●お客さまと営業担当者の会話は暗号化されますのでご安心ください。

弊社の個人情報保護方針はホームページ (<https://www.gib-life.co.jp/>) をご覧ください。

ジブラルタ生命は教職員の皆さまとそのご家族に、安心をお届けします。



ジブラルタ生命は共済事業（提携保険事業）の提携会社です。

「教弘保険」充実のラインナップ

34歳以下の教職員ののための

ユース教弘保険

（災害割増特約付団体契約特約付勤務保険）

35歳以上の教職員ののための

新教弘保険

（団体契約特約付勤務保険）

医療保障

新教弘医療保険α（無配当）
医療保険（14）（保険料払込中無解約返戻金型）

生涯保障＋介護保障

新教弘介護保障付終身保険
（無配当）
（介護保障付終身保険／低解約返戻金型）

年金保障

新教弘米国ドル建個人年金保険
（無配当）
米国ドル建個人年金保険（19）

※ご契約の際はジブラルタ生命のライフプラン・コンサルタントを通じて「契約概要」「ご契約のしおり・約款」をご確認ください。

公益財団法人 日本教育公務員弘済会（略称：（公財）日教弘）の教育振興事業（奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業）および福祉事業は、教弘保険の契約者配当金により運営されており、日本の教育界に貢献しています。

ジブラルタ生命保険株式会社

本社 〒100-8953 東京都千代田区永田町2-13-10

ジブラルタ生命保険株式会社は、公益財団法人日本教育公務員弘済会の共済事業（提携保険事業）の提携会社として、60年以上にわたる提携を通じて教職員の皆さまの福祉向上をお手伝いさせていただいております。

（本広告の掲載内容に関する問い合わせ先） ジブラルタ生命保険株式会社 提携団体チーム TEL:03-5501-6520

ジブラルタ生命のホームページ
<https://www.gib-life.co.jp/>



日教弘ライフサポート倶楽部のサービス情報

ログイン方法

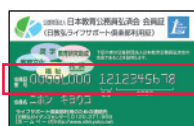
Step 1 ライフサポート倶楽部のホームページ「メンバーズナビ」へアクセス

<https://w7.lifesc.com/>

メンバーズナビ 検索

Step 2 ログインIDとパスワードを入力後、「ログイン」をクリック

IDは会員証のこの番号



メンバーズナビにログイン後、ご希望のメニューNo.を入力してください



メニューNo. **660612**

育児・子供教育雑誌の定期購読



「子供の科学」「たくさんの不思議」「ジュニアアエラ」など、子供の知的好奇心をすくすく伸ばす人気の雑誌から、「プレジデントファミリー」「進学レーダー」など、育児・教育に役立つ情報誌まで、人気雑誌の定期購読がオトクです！育児・子供教育でお悩みの方も、きっと育児・教育のヒントが見つかります。

メニューNo. **720008**

日経電子版

日経電子版は、パソコンだけでなく、スマートフォンやタブレット端末でも快適にお使いいただけます。通勤中も場所を問わず読むことができ、出張中でも最新の情報をお届けします。新聞だけでは手に入らない速報やニュースの解説、専門情報等電子版オリジナル記事も数多くご用意。仕事から暮らし、投資まで毎日約1,000本の記事を配信しています。



メニューNo. **710303**

ミラブルplus

「ウルトラファインバブル」で全身美肌へ。
シャワーでエステのような贅沢感を。

「ミラブルケア」は、毛穴やキメよりも小さいウルトラファインバブルを1ccに1億個以上生成。ウルトラファインバブルで化粧水の浸透力をアップし、お肌にうるおいを与えます。



メニューNo. **630267**

大地震に備える！防災セット

もしものために、防災対策のご準備はお済みでおられますでしょうか。お勤めの商品を厳選し、低額から高額の防災商品をセットさせていただきました。



●東京海上日動は、公益財団法人日本教育公務員弘済会の福祉事業「教弘まなびやスーパープラン」「教弘フルガード」「教職員収入ロングウェイサポート」の引受保険会社です。

挑戦の数だけ、 保険がある。

To Be a **Good Company**



東京海上日動



養蚕復活に取り組む

いしかわけんりつ つばた こうとうがっこう
石川県立津幡高等学校



大正13年に河北農蚕学校として設立された本校は、創立100周年に向けて『養蚕復活プロジェクト』を立ち上げました。

桑の苗木を植えることから始め、養蚕体験、桑・シルクを利用した加工品（クッキーやジャム・お茶等）の開発、桑の苗木配布などの活動をしてきました。昨年度は本校総合学科園芸系列の2年生全員が約4,000頭の蚕を飼育しました。現在は、繭→糸→絹生地という工程を経て、「マスク」と「ハンカチーフ」を製作しています。



〒929-0325

石川県河北郡津幡町字加賀爪ヲ45番地

【鉄 道】 JR七尾線中津幡駅から徒歩で6分

【自動車】 北陸自動車道「金沢森本IC」から車で20分



日教弘マークについて

公益財団法人 日本教育公務員弘済会<略称:(公財)日教弘>は、
都道府県を含む総称を「教弘」としていることから、
アルファベットの「K」がそのイニシャルです。
「K」を中心にした楕円形は、日教弘本部・支部が一致協力して事業推進していることを象徴しています。
全体のイメージは、未来への飛躍を展望したものです。



公益財団法人 日本教育公務員弘済会<略称:(公財)日教弘>の教育振興事業(奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業)及び福祉事業は教弘保険の契約者配当金により運営されており、日本の教育界に貢献しています。



公益財団法人 日本教育公務員弘済会 <https://www.nikkyoko.or.jp>